

山形県経済動向月例報告

(令和元年5月の経済指標を中心として)

令和元年7月8日

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。

個人消費は、力強さには欠けるものの、持ち直している。

鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。

雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。

目次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第1-1表 百貨店・スーパー（2業態）販売額、6業態合計販売額	4
第1-2表 コンビニエンスストア等4業態販売額	5
第2表 新車登録届出台数	6
第3表 新設住宅着工戸数	7
第4表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第5表 山形県主要業種別生産指数	9
第6表 山形県主要業種別在庫指数	10
第7表 新規・有効求人倍率	11
第8表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第9表 企業倒産	13
第10表 消費者物価指数	14
第11表 公共工事請負金額	15
(参考) 山形県その他の経済指標	16
全国その他の経済指標	17

利用上の注意

- ・ 山形県経済動向月例報告は、各種経済指標をもとに、本県経済の状況をまとめたものです。
- ・ 数字の単位未満は、原則として四捨五入しています。
- ・ 指標の中には速報値を使用しているものがあり、翌月に確定値に遡及して変更する場合があります。また、季節調整等により数値が改定される場合や公表数値が不定期に訂正される場合があります。
- ・ 各種経済指標は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によるものです。
- ・ この報告の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/>

(ホーム>目的でさがす>統計情報・オープンデータ>統計情報)

- ・ この報告の内容についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県企画振興部統計企画課政策統計担当

TEL 023-630-2180 FAX 023-630-2185

先月との比較

	6月	判断の 変化方向※	7月
総括判断	本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。	➡	(同じ)
個人消費	個人消費は、力強さには欠けるものの、持ち直している。	➡	(同じ)
鉱工業生産	鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。	➡	(同じ)
雇用情勢	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。	➡	(同じ)

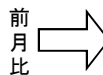
※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

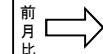
概況

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。

判断の変化方向



判断の変化方向



◎ 個人消費 … 力強さには欠けるものの、持ち直している。

- 百貨店・スーパー（2業態）販売額は、全店舗ベースで2か月ぶりに前年を上回ったが、既存店ベースでは2か月連続で前年を下回った。
コンビニエンスストア等4業態合計販売額は、12か月連続で前年を上回った。
新車登録届出台数は、2か月連続で前年を上回った。

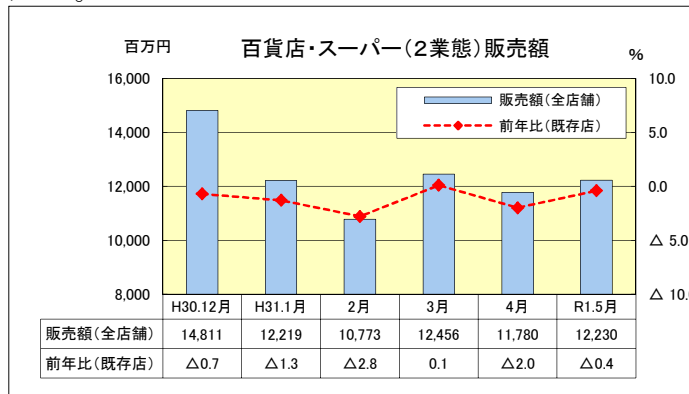
- ・百貨店・スーパー（2業態）販売額
R1.5月（全店舗） 12,230百万円
前年比（全店舗） 0.3%
（既存店）△0.4%

- ・コンビニエンスストア等4業態合計販売額
R1.5月（全店舗） 17,466百万円
前年比（全店舗） 5.6%

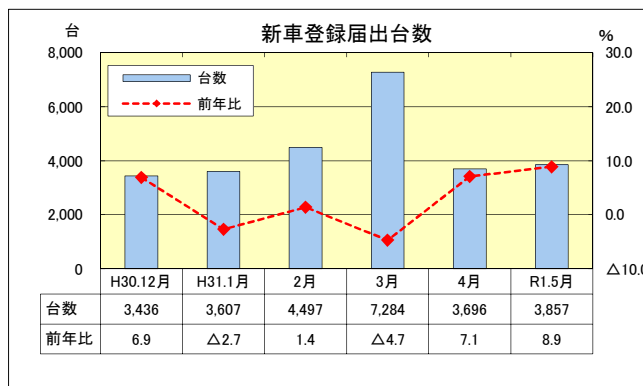
（参考）

6業態合計販売額は、4か月連続で前年を上回った。（第1-1表参照）

R1.5月販売額 29,696百万円



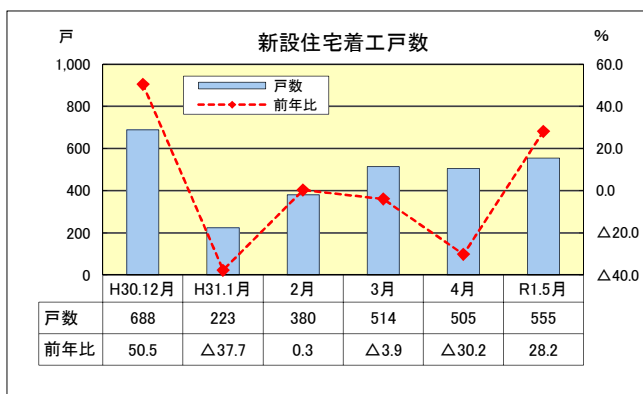
- ・乗用車(軽を含む)の新車登録届出台数
R1.5月 3,857台（前年比 8.9%）
車種別
普通乗用車 1,005台（前年比 10.2%）
小型乗用車 1,084台（前年比 6.6%）
軽自動車 1,768台（前年比 9.6%）



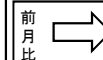
◎ 住宅建設 … 前年の水準を上回った。

- 住宅建設は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体では3か月ぶりに前年の水準を上回った。

- ・新設住宅着工戸数
R1.5月 総戸数 555戸（前年比 28.2%）
利用関係別（主なもの）
持家 254戸（前年比 6.3%）
貸家 246戸（前年比 70.8%）
分譲住宅 52戸（前年比 13.0%）



判断の変化方向



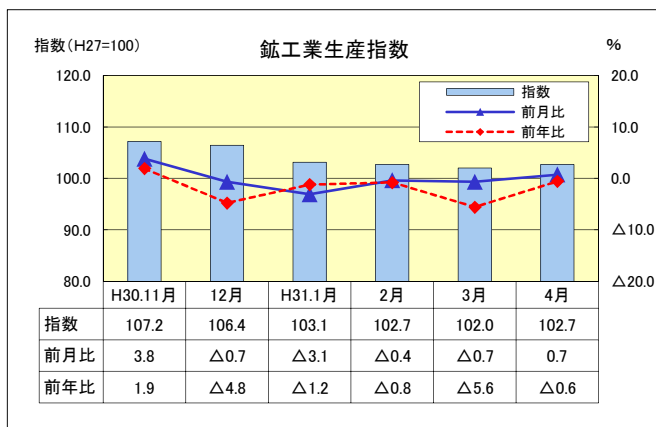
◎ 鉱工業生産 … このところ足踏みをしている。

- 鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業などの生産が増加したことから、前月比で0.7%上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
また、前年比（原指数）では0.6%低下し、5か月連続で前年を下回った。

- ・鉱工業生産指数（H31.4月）
季節調整済指数 102.7（前月比 0.7%）
原指数 99.9（前年比 △0.6%）
業種別（前月比）
上昇：汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業など11業種
低下：化学工業、電子部品・デバイス工業など11業種

主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	89.9(△ 5.5%、△ 7.0%)	
汎用・生産用・業務用機械工業	124.9(16.6%、 22.3%)	
食料品工業	101.2(2.0%、 1.5%)	
情報通信機械工業	91.4(14.0%、 △27.1%)	
輸送機械工業	119.3(3.4%、 0.8%)	
化学工業	117.5(△13.5%、 3.2%)	
電気機械工業	122.8(14.1%、 23.5%)	

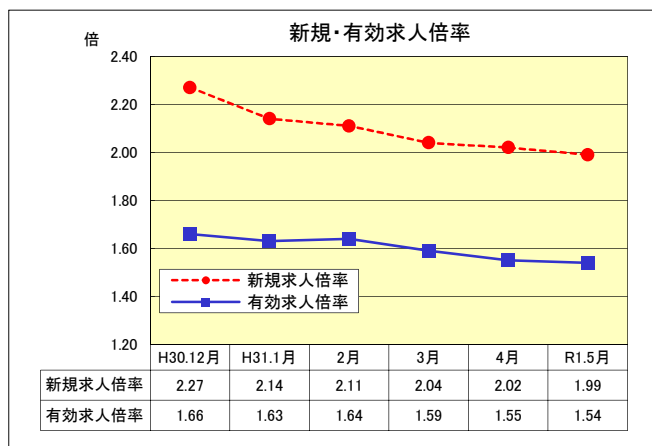


◎ 雇用情勢 … 着実に改善が進んでいる。

判断の変化方向
前月比 →

○有効求人倍率（季節調整値）は、前月を0.01ポイント下回り1.54倍となった。

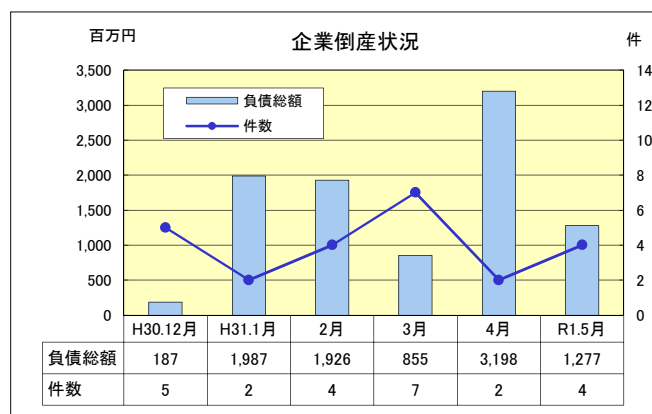
- ・雇用情勢（R1.5月）
 - 有効求人倍率 1.54倍（前月比 △0.01^ポ）
 - 〃（正社員） 1.04倍（前年比 0.03^ポ）
 - 新規求人倍率 1.99倍（前月比 △0.03^ポ）
 - 雇用保険受給者数 3,565人（前年比 △2.8%）



○ 企業倒産 … 件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。

○企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。

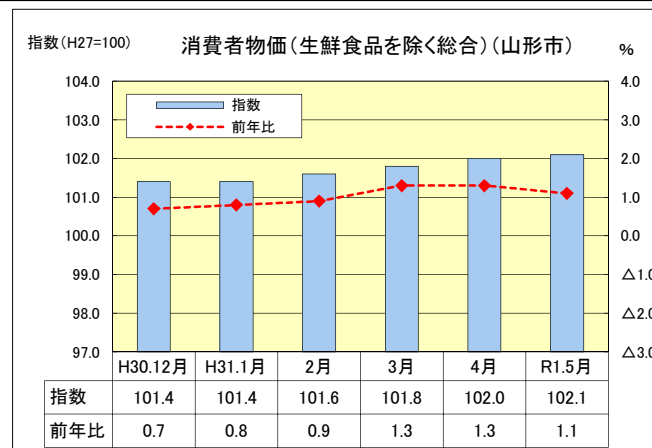
- ・企業倒産状況（R1.5月、負債総額1千万円以上）
 - 件数 4件（前年比 △50.0%）
 - 負債総額 12億7,700万円（前年比 101.4%）



○ 物 価 … 前年の水準を上回った。

○消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年の水準を上回った。

- ・消費者物価指数（R1.5月、山形市）
 - 総合指数 102.1（前年比 1.0%、前月比 0.2%）
 - 生鮮食品を除く総合指数 102.1（前年比 1.1%、前月比 0.1%）
 - 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数 101.5（前年比 0.7%、前月比 △0.1%）



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 令和元年6月18日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ弱含んでいる。
- ・企業収益は、高い水準で底堅く推移している。企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さがみられる。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 令和元年6月13日）

一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている

鉱工業生産：足踏みをしている

個人消費：足踏み状態となっている

住宅着工：高水準の中、このところ弱含んでいる

公共投資：復興事業により高水準にあるが、このところ減少している

設備投資：持ち直している

雇用：改善している

企業倒産：小康状態が続いている